

陸上自衛隊高等工科学校を見学して ～中学生からの手紙～

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）を通じて、高等工科学校説明会に参加した中学生から感想文が寄せられたのでここに紹介する。

私は、12月2日（日）、陸上自衛隊高等工科学校で行われた学校説明会に参加しました。そこは、私が普段生活している環境とは違っていました。生徒は、靴がピカピカで服装も全員ピシッとしていて、床にはゴミ一つ落ちていませんでした。

食堂での体験喫食の時には、前の席に座った生徒の方が部活の事などを詳しく教えてくれました。そして、見学終了時には「頑張って合格してね」とやさしく声をかけてくれました。

初めて高等工科学校を知ったのは、テレビ番組で特集を見た時でした。その時見た生徒は自衛隊の訓練をしていて、普通の高校とはかけ離れた世界でした。

私は将来自衛官になりたいので、この学校で充実した3年間を送りたいと思いました。

3つ年上の兄がこの学校に入校しています。入校してからの兄は、家にいた頃のだらしない兄ではなく、テレビで見た生徒のようになっていました。私も兄のように変わりたいと思います、より一層この学校に入りたくくなりました。そして、将来は陸上自衛官として、頑張っていきたいです。



母親と案内所を訪れた目黒君

神奈川県海老名市在住 中学3年 目黒 怜衣

めくろ れい

関東学院大学学生に護衛艦「いずも」特別公開

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、12月3日（日）、横須賀地方総監部において関東学院大学講師草間氏をはじめ、学生19名に対して実施された護衛艦「いずも」の特別公開を支援した。

当日は晴天のもと絶好の見学日和となり学生らは、まず岸壁から「いずも」を見上げ、その大きさに驚き、続いて飛行甲板に立つと、その広大さに圧倒されている様子だった。その後、艦橋をはじめ医療設備室、居住区及び浴場など見学し、その工夫された設備と充実さに目を奪われていた。

また、案内役の乗組員に学生は「航海中の生活は、普段とどこが違いますか」「外洋に出たときの艦の揺れはどうですか」などと次々と質問し、興味津々の様子だった。艦内での体験喫食では「学生食堂より、美味しい」と話し、おかわりをする学生もでるほど好評だった。

上大岡募集案内所は、今後も学校との連携に力を入れ、志願者の開拓及び入隊者の確保に努めていきたいとしている。



護衛艦「いずも」の飛行甲板を見学する関東学院大学学生ら



護衛艦「いずも」を見学した関東学院大学学生ら
(横須賀地方総監部)